

# コンテンツ構築

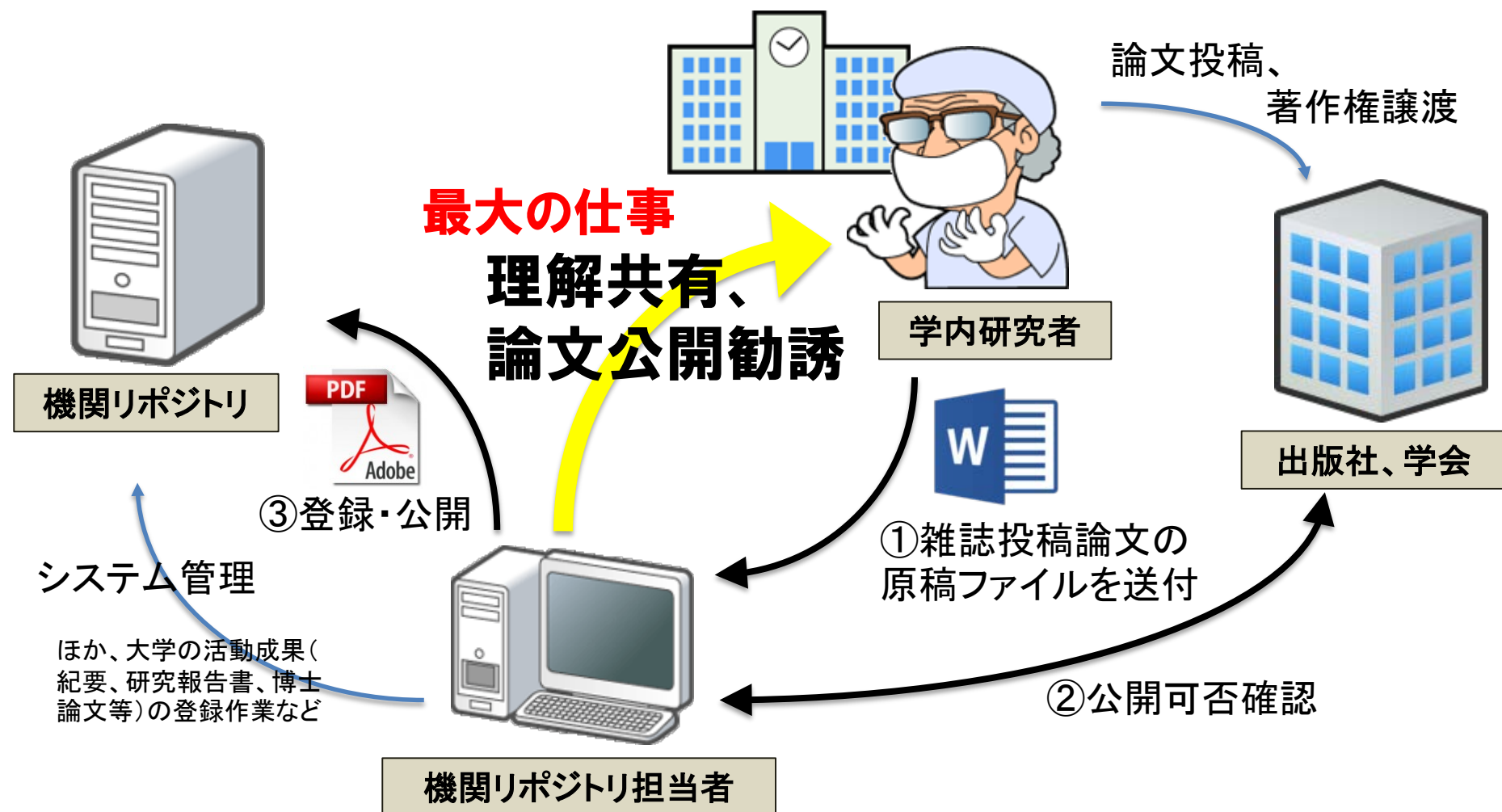


2017年度9月5日改訂版

機関リポジトリ新任担当者研修テキスト

JPCOAR オープンアクセスリポジトリ推進協会  
研修作業部会

# 機関リポジトリ業務とは



# コンテンツ構築

どれだけリポジトリ担当者が動くかにかかってきます。

自機関のリポジトリは現状はどこまでできている、さらに次の段階に何を計画できるのか。

**目標：ヒントをたくさん持ち帰る。**

# ペアワーク1

隣同士で自機関リポジトリの現在のコンテンツの内容および収集方法を説明する。

未構築館はまず公開しようとしているコンテンツは何か、現在の計画を説明する。

Time 2分

# 本講の内容

- 機関リポジトリのコンテンツとは
  - 各コンテンツの考えどころ
  - コンテンツ収集：研究者への広報
  - さいごに
- 
- 模擬説明会

# 機関リポジトリのコンテンツとは

# 機関リポジトリのコンテンツとは

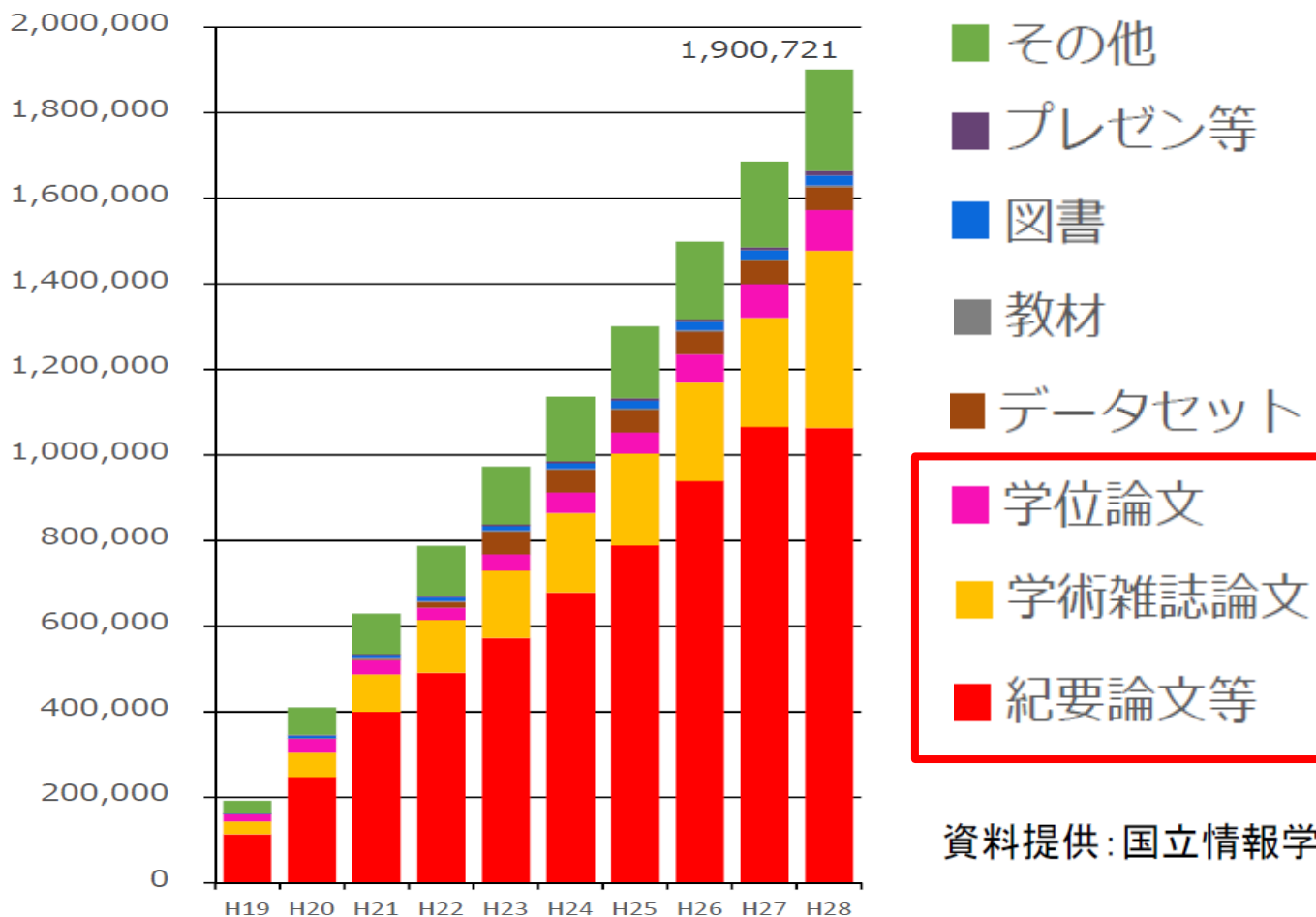
- 所属研究者の研究成果と機関の活動成果
  - 学術雑誌掲載論文、学会発表資料、記事、コラム、サイエンスデータ、ビデオ、音声、教材、紀要、学位論文 etc.
- 何を収集するか・しないか
  - 運用方針 / OA方針等での定義付け
    - 機関全体での戦略的なコンテンツ収集に
      - 運用方針一覧：  
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?%E9%81%8B%E7%94%A8%E6%8C%87%E9%87%9D%E4%B8%80%E8%A6%A7> (参照2017-09-05)
      - OA方針リンク集：[https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page\\_id=53](https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/?page_id=53) (参照2017-09-05)
      - OA方針策定ガイド：<http://id.nii.ac.jp/1458/00000021/> (参照2017-09-05)

# 機関リポジトリのコンテンツとは

- コンテンツは(量も種類も)増え続けるもの！
  - オープンアクセス → オープンサイエンス
- 所蔵資料の電子化ではない
- メタデータ(論文情報)だけのデータベース構築ではない
  - 本文があってこそ

# 機関リポジトリのコンテンツとは

機関リポジトリ登録データ数の推移(H29.3末現在)



資料提供: 国立情報学研究所

[http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/040/shiryo/icsFiles/afieldfile/2017/06/20/1386600\\_003.pdf](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu4/040/shiryo/icsFiles/afieldfile/2017/06/20/1386600_003.pdf)  
(参照2017-09-05)

# OA方針の策定

## ☆OA方針策定の目的

- OAのさらなる推進を目指し、OAに関する機関としての方針を内外へ示す

### (趣旨)

1. 神戸大学(以下「本学」という。)は、世界最高水準の教育研究拠点の構築と世界的な存在感の向上を実現し、現代及び未来社会の課題の解決と学術研究の発展に寄与するため、神戸大学研究憲章に掲げられた目標の通り、本学の卓越した研究成果を広く世界に向けて発信する。このため、本学に在籍する役員及び教員(以下「教員」という。)によって得られた研究成果のオープンアクセスに関する方針を以下のように定める。

「神戸大学オープンアクセス方針」より抜粋

<http://www.lib.kobe-u.ac.jp/kernel/doc/oapolicy.pdf> (参照2017-09-05)

# 各コンテンツの考えどころ

# コンテンツの2タイプ

	学内刊行物/学内生産	学外の刊行物
具体的な例	研究紀要、博士論文、 科研費報告書	学術雑誌論文、学会発表資料など
学内連携手続きを構築 することで捕捉可能か	◎	△
学内連携先	刊行物発行部署、教務系	教務系

# 学内刊行物/学内生産： (再掲)大学の学術情報発信基盤

## ■担当部署等との連携による定型業務化

- 機関リポジトリでなければ入手困難な資料(灰色文献)が多い
- 紀要 …編集部署が図書館であることも
- 学位論文 …インターネット上での公表の義務化
- 学内プロジェクトの成果文書(報告書等)
- 教材
  - 図書館の蔵書構築方針が大学によって異なるように、コンテンツの収録方針は機関によって異なることが自然

# 学内刊行物：紀要類

- 主な調整先：紀要編集委員会
  - － 電子公開の主体はあくまで紀要発行母体
    - 「図書館に持ってかれる」印象を与えないこと！
- 新刊分： **ボーンデジタルで！**
  - － 編集・査読プロセスそのものを電子化
  - － 印刷業者からPDF納品（改めて紙からスキャンすることがないよう）

# 学内刊行物：紀要類

## 新刊号から電子化する場合

- 電子化および公開の許諾
  - － 紀要編集委員会に投稿規程の改訂を依頼
    - 電子化(複製権)と公開(公衆送信権)を許諾・・・委譲・・・
    - 投稿規程改訂により、スムーズに「電子化と公開」が可能に
- 印刷業者からのPDF納品
  - － 紀要編集委員会に印刷仕様書の改訂を依頼
    - PDFファイルは論文単位で・・・透明テキスト付で・・・
    - 論文へのアクセスは増やし、作業の手間は増やさないように

# 学内刊行物：紀要類

- 紀要の公開を日常業務とするために
  - － 新刊PDFの安定的入手を目指して
    - 担当窓口の設定
    - 受け渡しの方法と時期を取り決め
    - 入力データのチェック体制
    - 一般公開のタイミングは？
    - 利用統計等のフィードバック
  - － 確認事項
    - 紀要ごとの発行スケジュール
    - 公開にあたっての著作権処理 等

# 学内刊行物：紀要類

- バックナンバー

- 権利処理(事例)

- 投稿規程を過去に遡って適用
    - HPや紀要、メール等でお知らせ(オプトアウト)
    - 著者ひとりひとりに許諾(オプトイン)

- スキャン

- 自炊？ or 委託？

- 自炊：ハード機器(ネットワークスキャナなど)が必要

- 業者委託：H大：スキャンのみ5円弱/p(3万p),

- メタデータ100円/件

- O大：スキャンOCRつき15円/p(1万5千P)

# 参考：紀要等のジャーナルページ (広島大)

The screenshot displays the website for the Hiroshima University Academic Information Report. The main header includes the university name in Japanese and English, a search bar, and a language selector. The central content area is titled '広島大学日本語史研究論集' (Hiroshima University Japanese Language History Research Collection). It features a cover image of the journal on the left and a detailed description on the right. The description states that the journal was founded in March 2015 and is a peer-reviewed academic journal. Below the description, there are navigation links for '全体' (All), '総目次' (Table of Contents), and '編集委員' (Editorial Board). A list of recent issues is shown on the left, with the most recent being Issue 3 (March 2017). The main content area lists two articles from Issue 3: '中世末期・江戸時代における「すわる」の意味素描' by Mitsuru Akiyoshi (pp. 1-10) and '金沢文庫本群書治要尚書に於ける訓詁の文体差' by Junichi Tanaka (pp. 11-26).

広島大学 学術情報リポトリ

English 検索

ISSN : 2189-2849  
発行元: 広島大学日本語史研究会  
(広島大学文学研究科)  
広島大学日本語史研究論集  
編集委員会

広島大学日本語史研究論集

2015年3月に創刊された『広島大学日本語史研究論集』は、同誌編集委員会の直続付きの同人学術誌である。発行主体の広島大学日本語史研究会は、広島大学大学院文学研究科の日本語史(国語史)の卒業生、大学院在学学生を中心に組織され、事務局は、広島大学大学院文学研究科日本文学研究室松本研究室に置かれている。『広島大学日本語史研究論集』は、日本語史研究に関わる学術論文、日本語史料の公開、古典語のデータの公表を目的としたものである。雑誌の公開は、紙媒体を廃して、広島大学図書館の学術情報リポトリに電子ファイル(PDFファイル)を上げたオンラインジャーナルで、ネットを通じて全世界に発信している。史料・データの公開を目標の一つに掲げて検索の便を考慮し、オンライン上での検索、また、掲載PDFファイルのダウンロードのPC上での検索に対応した形を取ることを目指した学術誌である。

雑誌トップ

- 3号 (2017-03-31)
- 2号 (2016-03-31)
- 1号 (2015-03-31)

全体

広島大学 日本語史研究論集 第三号  
広島大学日本語史研究会(広島大学文学研究科)

PP.

総目次

編集委員

中世末期・江戸時代における「すわる」の意味素描  
岡野 幸夫  
PP. 1 - 10

金沢文庫本群書治要尚書に於ける訓詁の文体差  
陳 翰柯  
PP. 11 - 26

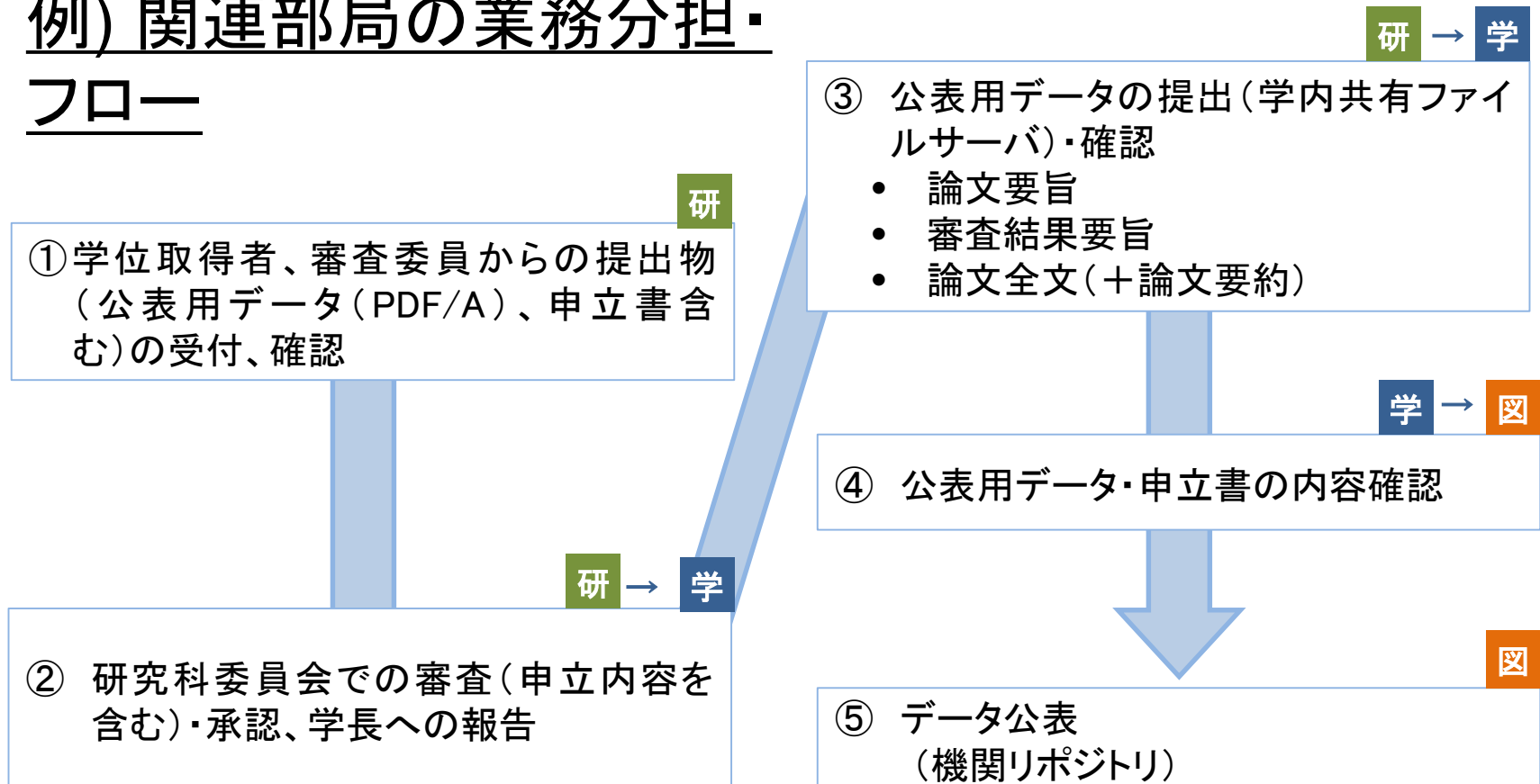
[http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/ja/journal/ej\\_HU\\_nihongoshi](http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/ja/journal/ej_HU_nihongoshi) (参照2017-09-05)

# 学内生産：学位論文

- 主な調整先：教務、学位審査委員会
  - － 博論・修論・卒論 / 誰の？ / どこでとった？
  - － 特許取得・雑誌投稿・出版等との兼ね合い
  - － 抜刷で学位申請するケース
- 新規授与分
  - － 博論は義務化（本文は著者に公開義務）
  - － 事例：教務に提出・図書館は登録公開するだけ、図書館で著作権調査を請け負う
- 過去の授与分
  - － 各機関で様々
    - 要旨のみの登録
    - 製本されている場合、解体再製本費なども発生

# 学内生産：学位論文

## 例) 関連部局の業務分担・フロー



## 参考：学位規則（昭和二十八年四月一日文部省令第九号）抜粋 ＜平成25年4月1日施行＞

- **第八条** 大学及び独立行政法人大学評価・学位授与機構は、博士の学位を授与したときは、当該博士の学位を授与した日から三月以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の内容の要旨及び論文審査の結果の要旨をインターネットの利用により公表するものとする。
- **第九条** **博士の学位を授与された者は、当該博士の学位を授与された日から一年以内に、当該博士の学位の授与に係る論文の全文を公表するものとする。**ただし、当該博士の学位を授与される前に既に公表したときは、この限りでない。
  - 2 前項の規定にかかわらず、博士の学位を授与された者は、**やむを得ない事由がある場合には**、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の承認を受けて、当該博士の学位の授与に係る論文の**全文に代えてその内容を要約したものを公表することができる**。この場合において、当該大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構は、その論文の全文を求めに応じて閲覧に供するものとする。
  - 3 博士の学位を授与された者が行う前二項の規定による公表は、当該博士の学位を授与した大学又は独立行政法人大学評価・学位授与機構の協力を得て、インターネットの利用により行うものとする。

# 参考：学位論文登録の参考資料

- DRF平成26年度 機関リポジトリ担当者オンライン勉強会「博士論文のインターネット公表」
  - <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?onlineworkshop2014> (参照2017-09-05)
- 博士論文のインターネット公表化に関する現況と課題（報告）
  - <http://id.nii.ac.jp/1280/00000131/> (参照2017-09-05)
    - 平成25年度学位授与論文の公表状況に関する調査

# 補足：大学出版会の学術書

- 主な調整先：大学出版会
  - － 外部組織である出版会とお話をする機会に
  - － コラボレーションの事例（京都大学）
    - コンテンツは出版会側がチョイス
    - 「新しい学術コミュニケーションを開き，研究のすそ野を広げ，研究成果の結晶としての本の意味が見直されることで『研究書離れ』を克服したい」（京大出版会 / 京都新聞 2008/02/27）

# 学外の刊行物

- 収集方針・運用方針
  - － 公表済文献に限るか
  - － 前任地で執筆した文献も対象とするか
  - － ゴールドOA分も対象とするか

→必ずしも出版社版が公開できるとは限らない
- 研究者への広報（後述）
- 共著者の意向、出版社のポリシーに注意
- グリーンOAの他の手段
  - － 機関リポジトリはグリーンOAの一手段であり、研究助成機関や著者個人のHPなどで公開されている場合もある

# その他のコンテンツ

- 研究者・職員・学生等が独自に作成・管理・公開
  - － 学術コミュニティ以外で公表されたもの
    - 一般雑誌・新聞記事、メディア提供資料、商業出版の単行図書等
  - － 広く公表されないもの・公表手段が限られているもの
    - 教材、研究データ、映像・音声資料、講演資料等
- 大半の場合、作成者との直接交渉が必須
  - － 作成者＝権利者の場合、公開後の利用のされ方も要検討（著作権コマ参照）

# その他のコンテンツ例

- 教材

- 職員・TAのための  
アカデミックライティング指導法

- 堀一成

/ [http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle\\_kernel/90003021](http://www.lib.kobe-u.ac.jp/handle_kernel/90003021)

(参照2017-09-05)



- 会議発表用資料

- 第2回鳥取大学地域学研究大会：  
講演・シンポジウム「地域学への期待と課題」

- 中村浩二, 栗原 彬

/ <http://repository.lib.tottori-u.ac.jp/Repository/metadata/3213> (参照2017-09-05)

- ソフトウェア

- 統計学的じゃんけんゲームソフト

- 石黒真木夫

/ <http://hdl.handle.net/10787/3824> (参照2017-09-05)



# その他のコンテンツ例

- 研究データ

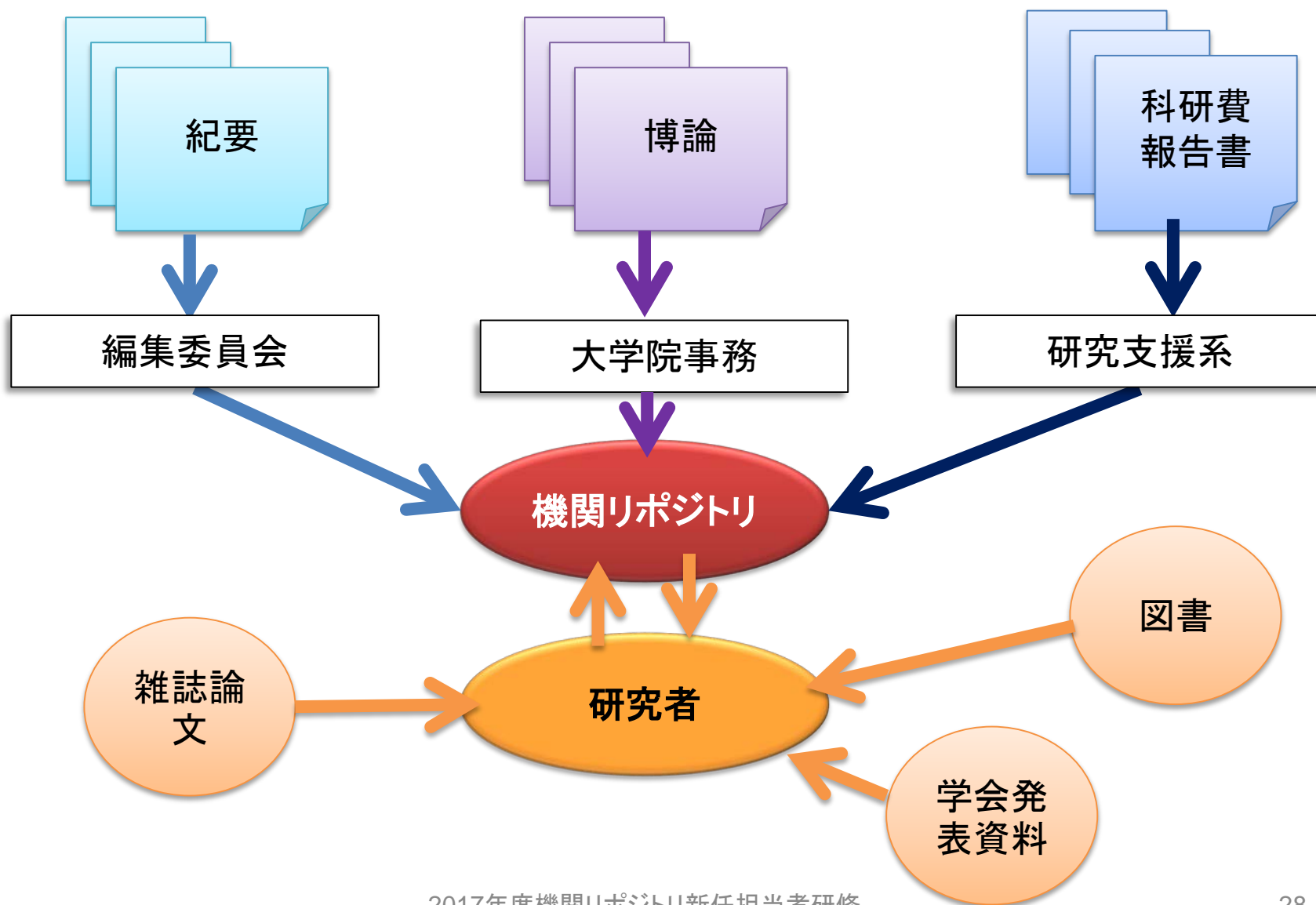
- 千葉大学CURATOR (<http://opac.ll.chiba-u.jp/da/curator/>) (参照2017-09-05)
  - 萩庭さく葉データベース(植物標本図像)
- 奈良文化財研究所学術情報リポジトリ (<http://repository.nabunken.go.jp/dspace/>) (参照2017-09-05)
  - 3D Bone Atlas Database(哺乳動物の骨の3Dデータ)



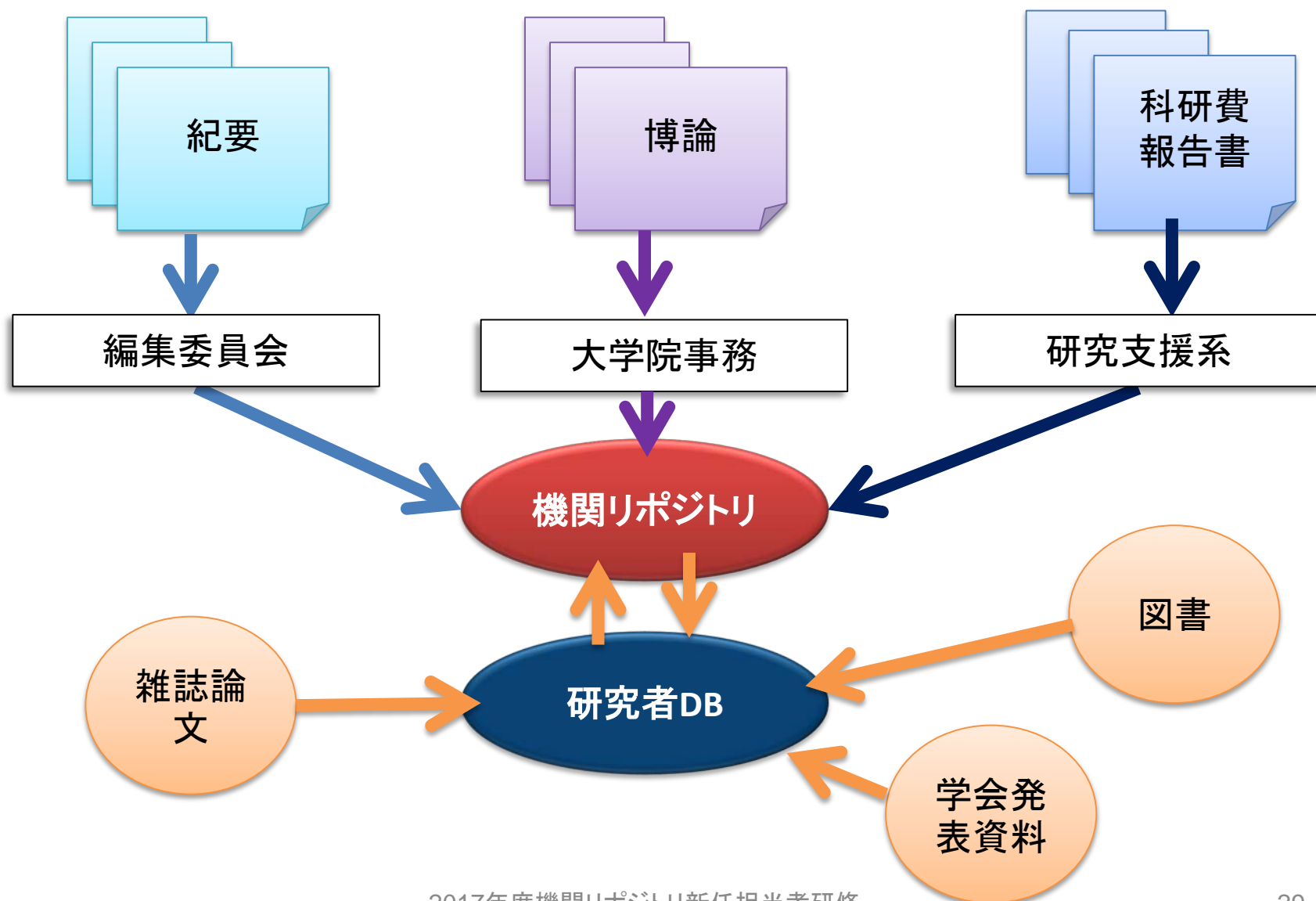
- データリポジトリとしての運用

- 学術資源リポジトリ協議会 (Repon)
  - 科学実験機器資料リポジトリ: <https://sci-instrument.repon.org/> (参照2017-09-05)
  - 教育掛図資料リポジトリ: <https://wallchart.repon.org/> (参照2017-09-05)
- 国立情報学研究所 (NII)
  - 情報学研究データリポジトリ: <http://www.nii.ac.jp/dsc/idr/index.html> (参照2017-09-05)

# 学内学術情報収集



# 研究者DB連携も視野に入れて



# 研究者DBとの連携(一橋大ほか)

一橋大学研究者情報(HRI)

<https://hri.ad.hit-u.ac.jp/> (参照2017-09-05)

一橋大学  
研究者情報 HRI: Hitotsubashi Researchers Information

HOME > 検索結果 > 山部 俊文

法学研究科  
山部 俊文(ヤマバ トシフミ)

研究者基本情報 研究活動 教育・社会活動

著書

- 『独占禁止法(第3版)』  
弘文堂 2010年

研究論文

- 「公正競争阻害性・再論(不正な取引方法規制の再検討)」  
日本経済法学会年報 30巻19-36頁 2009年 学術雑誌  
ISSN 1344-4263
- 「ドイツ競争制限禁止法における市場支配力のコントロール」  
ジュリスト 1331号113-124頁 2007年 学術雑誌  
ISSN 0448-0791
- 「不正な取引方法の規制の現状と理論的課題」  
公正取引 673号2-10頁 2006年 学術雑誌  
ISSN 0425-6247
- 独占法による企業結合規制に関する一管見：その趣旨・目的と規制対象・規制基準について  
一橋法学 3巻2号395-415頁 2004年 大学紀要  
ISSN 1347-0388
- ※刊行終了のお知らせ  
一橋大学研究年報 法学研究 36巻127頁 2001年 大学紀要  
ISSN 0439-3260

一橋大学機関リポジトリ(HERMES-IR)

<https://hermes-ir.lib.hit-u.ac.jp/rs/> (参照2017-09-05)

一橋大学機関リポジトリ  
HERMES-IR

HERMES-IR : Research & Education Resources >  
030 Department Bulletin Papers = 本学紀要論文 >  
\*一橋法学 => The Hitotsubashi Journal of Law and International Studies >  
02巻2号 (2004.6) >

このアイテムの引用には次の識別子を使用してください: <http://hdl.handle.net/10086/8716>

Title: 独占法による企業結合規制に関する一管見：その趣旨・目的と規制対象・規制基準について  
Other Titles: A note on some basic problems regarding the merger control  
Authors: 山部, 俊文  
Issue Date: Jun-2004  
Publisher: 一橋大学大学院法学研究科  
Citation: 一橋法学  
Volume: 3  
Issue: 2  
Start Page: 395  
End Page: 415  
Citation no.: 本学全数  
02巻2号 (2004.6)

Files in This Item:

File	Description	Size	Format
<a href="#">hogaku0030200510.pdf</a>		987Kb	Adobe PDF <a href="#">View/Open</a>

アイテムの詳細リンクコードを表示する

HERMES-IRに掲載されているアイテムは、他に指定されている場合を除き、著作権により保護されています。


相互リンク

# コンテンツ収集：研究者への広報

認知度を高める⇔意義を知ってもらう

# 研究者への広報・アプローチ

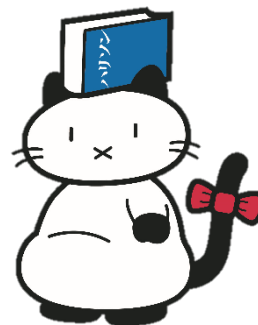
広く認知度を高める

- 
- ① 愛称、マスコット、ちらし、ポスター等
  - ② 説明会、個別コンタクト
  - ③ 統計情報のメール通知

意義を知ってもらう

# ①: まずはとにかく名前を売る

- リポジトリ?、コレクション?、アーカイブ?
- 英語名称から...
  - HUSCAP、CURATOR、HIR、KURA 他多数
- 大学名等から...
  - TeaPot、Barrel、紅 等





神戸松蔭女子学院大学学術機関リポジトリ  
KARASHI-DANE  
Knowledge and Academic Resource Archive of the Kobe Shoin Women's University Institutional Data Network



# ①: 理解度向上よりも、認知度向上 (北大・樽商大)

**旧**



**新**



**研究論文、産地直送**

**HUSCAP**  
北海道大学学術成果コレクション  
<http://eprints.lib.hokudai.ac.jp>



レルって何？

**A:** Barrel(パレル)の正式名称は、小樽商科大学学術成果コレクション  
本学の先生が執筆した論文や学術記事等がインターネットを介して無料で読めるサイトです。  
<http://barrel.i.h.otaru-uc.ac.jp>

# ①: ターゲティング(広島大)



→ <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学学術情報リポジトリは  
研究成果を必要とする  
すべての人へ届けます

広島大学学術情報リポジトリ (HIR) は、学内の研究者・学生のみならずの教育研究成果物を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で世界へ発信する電子図書館です。種々のサーチエンジンを通し世界中から検索可能となることで、これまで読むことのできなかった潜在的な読者層を開拓します。また、論文の視認性を向上させることで、インパクトの向上にもつながります。ご自身の研究成果発信・保存の場として、学術情報リポジトリをご活用ください。

※2007年のダウンロード数：約16万件

論文などのコンテンツをご提供ください。

 広島大学 学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

理系には  
発信を

文系には  
保存を



→ <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/>

広島大学学術情報リポジトリは  
研究成果を  
後世に継承します

広島大学学術情報リポジトリ (HIR) は、学内の研究者・学生のみならずの教育研究成果物を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で世界へ発信する電子図書館です。種々のサーチエンジンを通し世界中から検索可能となることで、これまで読むことのできなかった潜在的な読者層を開拓するとともに、電子媒体として一元・恒久的に管理することによって、研究成果の保存と、後世への継承を可能にします。ご自身の研究成果発信・保存の場として、学術情報リポジトリをご活用ください。

※2007年のダウンロード数：約16万件

論文などのコンテンツをご提供ください。

 広島大学 学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

## ②：説明会

- リポジトリの理念・役割・機能を広く周知させる
- 完全な理解を求めない
  - 一方的なプレゼンテーションだけで理解してもらうことは不可能。**質疑こそが説明会の中心**
  - 説明は極力短く。質疑応答はたっぷり
    - 30分の時間をもらったのであれば、10分で説明、20分を質疑応答に充てる
- 能書きよりも、何をしてほしいのかを明確に
- スケジュールをはっきり
- 後ほど実践します！

## ②: いつ、どのように？

- 聞いた人がすぐに手を動かせる時期
- 1、2件でも本物のコンテンツを見せると効果的
  - 「デモンストレーション用のデータベースを構築する際に重要なことは、「本物の」コンテンツを使うことである。」(エジンバラ大学、ノッティンガム大学 / <https://www.nii.ac.jp/irp/archive/translation/eprints/> (参照2017-09-05))
  - なければ近隣大学の実稼動版を見せる
- 自由参加型(参加者数は期待薄)
  - 閉会后、個別ヒアリングしやすい(後述)
- 別の集合機会の一部を充てる
  - 教授会などにお邪魔する、情報リテラシーのついで、DB講習会の最後、新任教職員への事務システムガイダンス etc. ...

## ②：個別コンタクトとそのきっかけ

- とにかく会いに行く・会ったら話す
  - ILLで、カウンターで、売店で、道端で.....
  - 図書館へのご意見・ご質問をいただいたら
  - 説明会の質疑応答
    - 説明会が終わったその場で
    - 「さっきのご質問なのですが、実際のところは...」
  - 研究室に訪問
    - 「5分10分で結構です」  
→割と付き合ってもらえる
- 個別コンタクトを企画する
- 誰から？
  - 身近な先生から
    - 別の先生へ繋がることも
  - トップから：行事挨拶で話題に
  - 年代ごとに
    - ベテラン先生：コンテンツ多
    - 若手先生：モチベーション高
  - 全員！（帯広畜産大）
- いつ行く？
  - 構築前：運用方針、構築の参考
  - 構築後

## ②：直接対話するための準備

- 予備知識
  - － 相手のこと。分野・研究内容・発表論文等
  - － 相手の研究分野の主要雑誌・主な出版社ポリシー
  - － 雑誌危機（購入雑誌タイトル、EJ予算）
  - － インパクトファクター
  - － オープンアクセスジャーナル、APC
  - － 海外の情勢（NIH、英米議会、義務化）
  - － 日本の状況（日本のIR数、先行大学のやり方）
- こわがらずに誠実に熱意を持って

## ②：心構えとアプローチ

- 説得するわけではなく、話を聞く
  - 研究内容、投稿雑誌、OA、図書館.....  
→ 図書館活動全体にとって有益
- 併せて論文登録の勧誘もするなら.....
  - 「この論文をください！」
    - 文献情報DB検索結果から、研究業績から
    - サイエンスカフェ、市民講座、講演会
    - ホットな論文（時事ネタ、メディア掲載、内外表彰）
    - たまたま見かけた論文、ILLで受け付けた文献
    - 出版社版IR掲載OKの文献
      - 広報事例集「文献DBから「ください！」」も参照

# ③: 統計情報のメール通知

- 各文献のダウンロード回数を月次で提供者にメール通知

- 北大、樽大、筑大、北陸先端大などで実装

共著者にも!

- 意義の実証

- 「意外なところで、あるいは反対にもっともな所で読まれていたりして、大変興味深く、かつ今後の刺激になるデータです。今後とも楽しみにしております。」

Title: Barrelご提供文献の閲覧状況(20XX年X月)

〇〇先生

日頃より附属図書館の事業にご協力いただき.....

附属図書館では、「小樽商科大学.....(Barrel)」に著作を提供下さったみなさまへ、月1回、閲覧状況をお知らせしています。

以下は、文献ごとの閲覧回数です。より詳しい内容もご提供できますので、ご希望の方は....

※詳細版の内容はドメイン別の閲覧回数です。

.edu(米国教育機関)からn回、.otaru-uc.ac.jp(小樽商大内)からn回、といった内容になります。

来月以降こうした通知が不用であれば.....

【20XX年X月 文献別被閲覧回数】

○ダウンロード XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

○ダウンロード XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

:

さいごに

# 研究者への広報・アプローチ

広く認知度を高める



- ① 愛称、マスコット、ちらし、ポスター等
- ② 説明会、個別コンタクト
- ③ 統計情報のメール通知

意義を知ってもらう

# 全部やる！

- ともかく名前を売らなければはじまらない
- チラシは広範囲だがスパム止まり
- 説明会は対象が狭いが、うまくいけば効率良い広報に
- 個別コンタクトは時間がかかる

→うまく組み合わせて全部やる！

- ひとりでできなければみんなで
  - 複数の担当者で協力して
  - 複数の機関で同時に

- Open Access Week(10月末)など

- 2016年の様子:

[https://www.flickr.com/photos/drif\\_museum/sets/72157671426519323/](https://www.flickr.com/photos/drif_museum/sets/72157671426519323/)

(参照2017-09-05)



# “隠れた最大のメリット”（再掲）

図書館が中心となって機関リポジトリを推進することの図書館にとっての隠れた最大のメリットというか恩恵というか楽しみは**発信者（著者）としての教員（研究者）と身近に接し、そこからこれまでになかった新たな図書館サービスのヒントを得られることではないか**

尾城孝一（国立情報学研究所（当時））（2006.12 DRFメーリングリストより）

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf-ml/100/194.html>（参照2017-09-05）

## <図書館にとって>

- 研究者との対話、研究生活の理解  
→あらゆる図書館活動にプラスに働く
- 健全なりポジトリ ー毎日少しずつでも

# ペアワーク2

隣同士でこのコマを聞いて、自機関のリポジトリコンテンツ構築につき、現状の次の段階への宣言を行いましょう。

Time 3分

# 模擬説明会

# 模擬説明会

- いまから
- 皆さんは、
  - 「先生になったつもりで」聞いてください
  - 「先生になったつもりで」質問してください

# 広報事例集

いろいろやってみよう！

# キャッチーな話題を前面に出す (筑波大学)



# ターゲティング (北大・奈良女大)

## 文献複写申込者へ

学外への文献複写をご利用の方へ

### あなたの研究論文を 読みたいくても 読めない人がいます

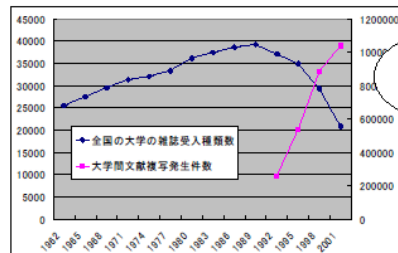
読者を増やそう！

HUSCAP:北海道大学学術成果コレクションの御案内

学術雑誌の価格は高騰を続けています。本学では共通経費化等の措置により、一定量のジャーナル・タイトルの購読を維持できていますが、それでも非購読誌の論文の入手にはこのように学外への文献複写に頼るしかありません。

世界の他の大学・研究機関でも研究に必要な文献の入手は非常に困難な状態になってきています。下図は、日本国内の大学における雑誌受入タイトル数と文献複写の発生数を示したものです。1980年代の終わりを境に、国内で閲覧可能なタイトルは半減しています。

あなたの研究論文を読みたいくても読めない人がいます。著作を北海道大学学術成果コレクション(添付のパンフレットを御覧ください)から公開しませんか？



どこの大学でも  
文献入手は  
たいへん



## 科研費取得者へ

科研費  
KAKENHI

実績報告書 及び  
実施状況報告書

入力項目追加

### 「オープンアクセス」欄 にチェックするには

平成26年度、研究成果論文のオープンアクセス化に関するチェックボックスが新設されました。

4) 科研費の研究成果をオープンアクセス誌に発表した場合や、機関リポジトリに登録するなどセルフ・アーカイブ等により当該論文を公開した場合、あるいはいずれかの予定がある場合(オープンアクセスを実施する時期は問わない。))には、「オープンアクセス」欄のチェックボックスにチェックをすること(なお、査読の無い論文の場合には、オープンアクセスの対象とはならないので注意すること。)。なお、本項目は紙媒体上には表示されない。

<チェックする(「オープンアクセス」としている(または、その予定である。))の場合の例>

- ① 論文の著者が掲載料(APC: Article Processing Charge)を負担し、当該論文をオープンアクセスとする場合
- ② 従来の購読料型学術雑誌に掲載された論文を、一定期間(エンバゴ)後(例えば、6ヶ月後)に出版社の許諾を得て著者が所属する研究機関が開設するWeb(機関リポジトリ)又は研究者が開設するWeb等に最終原稿版を公開(セルフ・アーカイブ)し、当該論文をオープンアクセスとする場合
- ③ その他(研究コミュニティや公的機関が開設するWebに論文を掲載し、当該論文をオープンアクセスとする場合)

様式記入例・作成上の注意(電子申請対応用)より

「機関リポジトリ」に該当するのは、本学では奈良女子大学学術情報リポジトリです。奈良女子大学教員の皆様の研究成果をインターネット公開(「オープンアクセス」化)するプラットフォームです。研究成果論文を奈良女子大学学術情報リポジトリに登録することで、「オープンアクセス」欄にチェックすることができます。

平成27年4月

奈良女子大学学術情報課電子情報係

Tel: 0742-20-3327 / Mail: densi@cc.nara-wu.ac.jp

# スタッフブログ(東京歯科大)

いるか  
飼育日記



東京歯科大学 学術機関リポジトリ  
IRUCAAA  TDC  
Institutional Resources for Unique Collection and Academic Archives at Tokyo Dental College

Google™ カスタム検索

東京歯科大学 | 図書館

- 1 2 3 4 5.. 次の10件>>

2016年03月25日

●Evaluation of infiltrative growth pattern in squamous cell carcinoma of the tongue: Comparison with Yamamoto-Kohama classification

いるかです。

Ryuta Osaka, Nobuharu Yamamoto, Takeshi Nomura, Nobuo Takano, Takahiko Shibahara, Kenichi Matsuzaka

Evaluation of infiltrative growth pattern in squamous cell carcinoma of the tongue: Comparison with Yamamoto-Kohama classification.

Journal of Oral and Maxillofacial Surgery, Medicine, and Pathology, 27(2), 250-254, 2015.

DOI: 10.1016/j.ajoms.2014.10.004

検索

☒ ウェブ ☐ 記事

カテゴリ

トピック(67)

要著作権調査(10)

エンバーク中(10)

登録不可(9)

公開中(303)

出張報告(25)

過去ログ

2016年03月(1)

2016年02月(11)

2016年01月(16)

2015年12月(3)

2015年11月(4)

2015年10月(3)

2015年09月(2)

2015年08月(2)

<http://irucaa.seesaa.net/> (参照2017-09-05)

# 質疑応答集・インタビューコレクション (DRF-Wiki)

**リポジトリをつくる**

- リポジトリをつくる
- 各機関運用指針一覧
- リポジトリシステムを試す
- 事例報告集

**リポジトリを育てる**

- リポジトリを育てる
- 実務のための関連資料
- 技術関連情報
- 運用議論あれこれ

**さらに深く知る**

- もっと知りたいリポジトリ
- DRFPedia(用語集)
- 関連資料集
- リポジトリ関連報道一覧
- リンク集



recent(8)  
2015-02-02  
DRF\_Monthly

- 名古屋大学(右記中の「著作権許諾書式」) <http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/>
- 九州大学 <http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfrm/msg00149.html>  
<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drfrm/msg00169.html>

**質疑応答・FAQなど**

- 学内研究者向け説明会質疑応答集(北海道大学)  
 Hokudai\_QA.xls
- 学内研究者向け説明会質疑応答集(三重大学・20070110差替え)  
 Miedai\_QA20070110.xls
- <http://repository.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/faq.html>(東京大学)
- <http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/index.php/FAQ>(名古屋大学)
- <http://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/portal/main/faq.html>(広島大学)
- <https://qir.kyushu-u.ac.jp/info/index.php?FAQ>(九州大学)
- 学内研究者向け説明会質疑応答集(金沢大学, 平成18年度教授会)  
 kura\_qa2006.pdf

**論文投稿とIR登録の関係**

- 機関リポジトリと著作権(北海道大学)  
 H18ポータル研修著作権北大.ppt
- 論文投稿とIR登録の関係図  
 論文投稿とIR登録の関係図20061222.ppt  
 論文投稿とIR登録の関係図20061227.ppt
- <http://www.sherpa.ac.uk/romeo.php>(SHERPA/RoMEO)  
■ Sherpa Romeo Widaet: <http://www.rwidaets.co.uk/wiki/doku.php?id=wiki:romeo>

質疑応答集:

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?Documents>

(参照2017-09-05)

...研究者から何を聞かれたか・どう答えたか

インタビューコレクション:

<http://drf.lib.hokudai.ac.jp/drf/index.php?OAWEEK%202010#pa6453c5>

(参照2017-09-05)

...研究者に何を聞いてみたか・どう答えられたか

# 事例：切り番インタビュー（樽商大）

The screenshot shows the Barrel website for Otaru University of Commerce. A red box highlights the '記念インタビュー' (Commemorative Interview) section on the right, which lists various academic works and interviews. An orange box highlights a specific interview entry on the left side of the page, which is also titled '記念インタビュー'.

**記念インタビュー**

- 4900件目 辻義人先生 大学生活スタートアップ講座「レポート作成の作法」
- 4800件目 坂東雄介先生 国籍の役割と国民の範囲-アメリカ合衆国における「市民権」の検討を通じて(7・完)

**記念インタビュー**

- 4900件目 辻義人先生 大学生活スタートアップ講座「レポート作成の作法」
- 4800件目 坂東雄介先生 国籍の役割と国民の範囲-アメリカ合衆国における「市民権」の検討を通じて(7・完)
- 4700件目 北川泰治郎先生 外部機関との連携事業を構築するネットワークの存在-社会関係資本論からネットワークを考察する-
- 4600件目 小林敏彦先生 平成25年度検定新英語教科書の口語表現のオーセンティシティ検証と5つの緊急提言
- 4400件目 杉村泰教先生 A Reconsideration of Oa the Earth Goddess in William Golding's "The Inheritors"
- 4300件目 田林洋一先生 スペイン語の動詞と構文が持つ他動性に関する認知言語学的考察：文法形式と意味との乖離を巡って
- 4200件目 片岡正光名誉教授 ヨウ化物イオン電極によるバナジウム(TV)の接触分析
- 4100件目 國武英生先生 1998年公益情報開示法をめぐる裁判例の動向と運用状況
- 4000件目 江頭進先生 ハイエクの人間像

→ [記念インタビュー一覧](#)

<https://barrel.repo.nii.ac.jp/> (参照2017-09-05)

# 文献情報DB検索から「ください！」

- 検索をルーチンワークにする
  - 毎週〇曜に所属研究者が書いた論文をDBで検索して、著作権ポリシーを調べ、個別にメールで依頼する
  - アラート機能を使い都度、個別にメール依頼
  - Web of Science, Scopus, 医中誌web, PubMed等

# 参考: Scopusを使った金沢大の場合

- 毎月1～2回、以下の検索式で検索し、結果をCSVで保存
  - 「著者所属機関」を選択し、「(“kanazawa univ”) OR (“kanazawa university”) OR (“kanazawa uni”)」を入力
  - 期間指定は、「過去7日以内」を選択
  - 文献タイプは「全タイプ」を選択
  - 分野は「ライフサイエンス」「社会科学」など全てにチェック

## 参考：PubMedを使った東京歯大の場合

- 以下の方法で、毎週、検索結果がメールで送られるように設定
  - PubMed右上Sign in NCBI から所属「google」、メールアドレスをGmailでID登録
  - Gmailにメールが来るのでクリックしID登録完了
  - PubMedのadvanced検索画面で、「Affiliation」を選択し「tokyo dental college」を入力し「Search」
  - 上部の「Save Search」をクリックし、「weekly」「Monday」「20items」に変更し、Saveをクリック